

課題名

術前に中止したDOACの術後再開時期の適正化を目指した 薬剤師の取組とその評価

○研究の目的

直接経口抗凝固薬(direct oral anticoagulant; DOAC)の周術期休薬の判断にあたっては、患者ごとに血栓と出血リスクについての情報を整理し評価する必要がありますが、リスク評価の難しさからそれは簡単ではありません。そこで、手術室薬剤師が患者の血栓リスクについての情報整理と評価を行い、ガイドラインに基づき、術前に中止した DOAC の術後再開時期を主治医に提案することで、周術期休薬期間を最適化する取組みをします。

○研究の方法

2022年4月1日から2022年12月31日までに、広島大学病院で全身麻酔手術を受けた、DOAC服用中の入院患者を対象とします。術前に手術室薬剤師が DOAC 休薬期間に関する主治医の指示を確認します。ガイドラインの推奨休薬期間と異なる場合、主治医に再開時期の提案を行い、手術室薬剤師提案前後での DOAC の休薬期間を比較します。

本研究は全て診療録(カルテ)情報を調査します。調査する内容は既往歴、術式、DOAC 投与量、DOAC の休薬指示、休薬期間、副作用です。(個人が特定出来る情報は転記しません)

カルテ情報は研究の実施許可日(2022年7月11日)以降に使用します。

また、本学単独で実施する研究のため、外部へ情報を提供することはありません。

(研究期間 実施許可日～2025年3月31日)

○個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせ下さい。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることは有りません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

.....
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-5572

広島大学病院薬剤部

薬剤師 松尾 裕彰(研究責任者) 三好 真希子(担当者)